

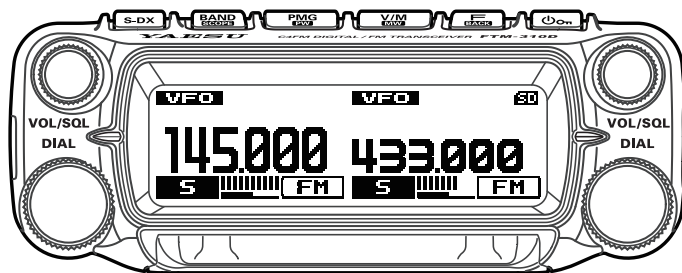
YAESU

Radio for Professionals

C4FM/FM 144/430MHz
DUAL BAND DIGITAL TRANSCEIVER

FTM-310D FTM-310DS

取扱説明書 GM 編



製品の仕様・外観等は改良のため予告なく変更することがあります
この取扱説明書に記載の社名・商品名等は、各社の商標または登録商標です
この無線機を使用するには、総務省のアマチュア無線局の免許が必要です
また、アマチュア無線以外の通信には使用できません
この取扱説明書は、「GM 機能」に関する説明が記載されています
基本的な操作に関する説明は、本製品に同梱の取扱説明書をお読みください

目次

GM 機能とは？	2
GM 機能を使う	3
相手局の位置をコンパス画面で表示する	3
受信したメッセージを確認する	4
メッセージ(MESSAGE)を送信する	5
新規にメッセージを作成して送信する	5
定型文を使う	6
定型文を登録する	6
確認したメッセージに返信(REPLY)する	7
確認したメッセージを転送(FORWARD)する	7
GM セットモード一覧表	8
GM セットモード動作一覧	8

GM 機能とは？

GM(グループモニター)機能は、同じ周波数で GM 機能を動作させている局や DN モードで運用している局が通信範囲内にあるかどうかを自動的に確認して、コールサインごとに距離と方位などの情報を画面で確認することができます

DG-ID 番号を“00”以外にしている場合は、GM 機能をオンにしている同じ DG-ID 番号に設定した仲間が交信可能範囲内にあるかどうかをチェックします。また、仲間の誰が通信圏内にいるか分かるだけでなく、APL(オートマチックポジションロケーティング)画面では自局を中心とした仲間の位置(最大 4 局まで同時表示)とそれぞれの進行方向がコンパス画面で表示されますので、お互いの位置や距離、移動方向などを瞬時に確認できます
さらに GM 機能を使って、仲間との間でメッセージを送ることもできます




- GM 機能を動作させると、通信モードが自動で C4FM デジタル(DN)モードになります
- GM 機能は、仲間と同じ周波数で運用してください
- 受信の DG-ID 番号を“00”以外に設定すると、同じ DG-ID 番号の信号以外は受信できませんのでご注意ください



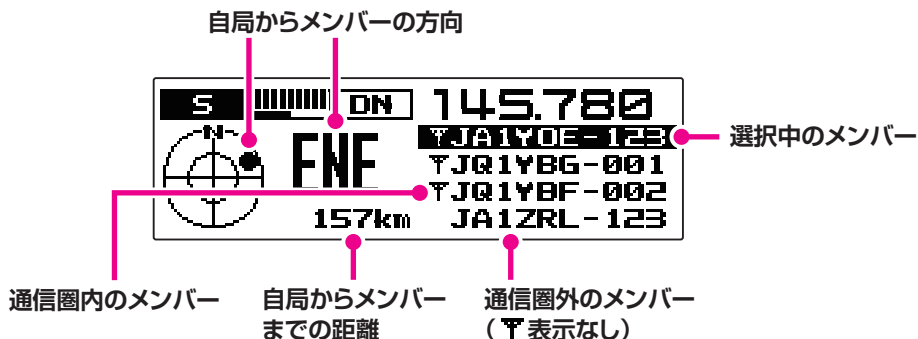
メッセージの送受信するには市販の microSD カードを本機に挿入してください
下記容量の microSD メモリカードまたは microSDHC メモリカードに対応していますが、市販されているすべての microSD メモリカードと microSDHC メモリカードの動作を保証するものではありません。また、microSDXC メモリーカードには対応していません
・2GB ・4GB ・8GB ・16GB ・32GB

GM 機能を使う

1. 仲間と周波数をあわせませす
 - 仲間の位置情報だけを確認したい場合には、すべての仲間の局で送信と受信の DG-ID 番号を“00”以外の同じ番号に設定します
 - GM 機能が動作中は周波数の変更はできません
2.  キー短押し
3. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして**[GM]**を選択 → **DIAL** ツマミ(右側)を短押し
 - GM 機能が動作して、同じ周波数で GM 機能を動作させている局または、DN (V/D) モードで運用している交信圏内にいる局が最大 24 局まで表示されます
 - 交信可能なメンバーはコールサインの左に“**▼**”が点灯し、圏外になったメンバーは“**▼**”が消えます(下のイラスト参照)
 - PTT スイッチを押して、C4FM デジタルの DN モードで交信ができます

相手局の位置をコンパス画面で表示する

1. GM 機能が動作中に **DIAL** ツマミ(右側)をまわして位置情報を表示する相手局を選択します
選択した相手局のコールサインと方向、距離が表示されます



- 交信圏外の相手局の位置情報は更新できません
- 自局または相手局が GPS を捕捉しておらず、位置情報(緯度、経度)をマニュアル設定していないとき、または位置情報送信に対応していない C4FM デジタルトランシーバーの場合などで、相手局の信号に位置情報が含まれていない場合や自局の位置情報がない場合には距離や位置情報は表示できません

- 測位する周辺の環境などによっては、GPS 位置情報は数百mの誤差が生じることがあります
- この機能は、GPS 衛星のデータを使用した簡易的な機能です。自局や相手局の位置の目安としてお使いください

受信したメッセージを確認する

受信したメッセージを確認します



GM機能が動作中に、新たにメッセージを受信するとビープ音が鳴ります

1. メッセージを受信するとビープ音が鳴ります
2. **DIAL** ツマミ(左側)を押してから、**DIAL** ツマミ(右側)をまわして**[MESSAGE]**を選択して**DIAL** ツマミ(右側)を押します

“LOG MESSAGE”画面が表示されます

画面のアイコンは、以下の内容を表しています。

アイコン	説明
	受信したメッセージ(未読)
	受信したメッセージ(既読)
	送信したメッセージ
	送信に失敗したメッセージ



3. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして表示するメッセージを選択して**DIAL** ツマミ(右側)を押します
 - 選択したメッセージが表示されます
 - **DIAL** ツマミ(左側)を押してから**DIAL** ツマミ(左側)をまわして**[FWD]**を選択して**DIAL** ツマミ(左側)を押すと情報を他のメンバーに転送できます。“確認したメッセージを転送(FORWARD)する”(7ページ)を参照してください
 - **DIAL** ツマミ(左側)を押してから**DIAL** ツマミ(左側)をまわして**[REPLY]**を選択して**DIAL** ツマミ(左側)を押すと、送信した局に返信できます。“確認したメッセージに返信(REPLY)する”(7ページ)を参照してください。
 - **DIAL** ツマミ(左側)を押してから**DIAL** ツマミ(左側)をまわして**[DEL]**を選択して**DIAL** ツマミ(左側)を押すと、“DELETE?”と確認画面が表示されます。**DIAL** ツマミ(右側)をまわして**[OK]**を選択して**DIAL** ツマミ(右側)を押すとメッセージを削除します
4. キーを3回押すと、相手局の一覧表示に戻ります


メッセージ(MESSAGE)を送信する

GM 機能を使って、メッセージを送信します
送信する方法には、次の 3 種類があります。

- (1) 新規にメッセージを作成して送信します。
- (2) 確認したメッセージに返信(REPLY)します。
- (3) 確認したメッセージを転送(FORWARD)します。

新規にメッセージを作成して送信する

新規に作成したメッセージをメンバーに送信します

1. GM 機能が動作中に **DIAL** ツマミ(左側)を押してから、**DIAL** ツマミ(右側)をまわして **[MESSAGE]** を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押します
2. **[NEW]** が選択されていますので、**DIAL** ツマミ(右側)を押します
3. **DIAL** ツマミ(左側)を押してから、**DIAL** ツマミ(左側)をまわして **[EDIT]** を選択して **DIAL** ツマミ(左側)を押します
文字入力画面が表示されます
4. 取扱説明書 <基本編> の“文字入力画面の操作”を参照して、メッセージ(最大半角 80 文字)を入力します
 - あらかじめ登録してある定型文を使って、メッセージを簡単に入力することができます。詳しくは“**定型文を使う**”(6 ページ)を参照してください
5. 入力が完了したら **DIAL** ツマミ(右側)を長押しします
メッセージの全文が表示されます
6. **DIAL** ツマミ(左側)を押します
7. **[SEND]** が選択されていますので、**DIAL** ツマミ(左側)を押します
 - 送信を中止する場合は  キーを押すと、入力したメッセージをキャンセルして LOG MESSAGE リスト画面に戻ります
 - 入力したメッセージを定型文として登録することができます。詳しくは“**定型文を登録する**”(6 ページ)を参照してください
8. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして **[ALL]** を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押すとメッセージが送信されます
 - 特定の局を宛先に指定する場合は、**DIAL** ツマミ(右側)をまわして相手局を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押すとメッセージが送信されます



- 交信圏外の局は選択することができません
- 宛先とは、画面の宛先部分に“ALL”と表示させるか、“特定の局のコールサイン(名前)”を表示させるかの違いです。特定の局のコールサイン(名前)を宛先に指定しても、同じ周波数で GM 運用中の交信圏内にいる局はメッセージを見ることができます

定型文を使う

本機には 19 個のメッセージ用定型文があらかじめメモリーされていますので、文字入力の手間を省くことができます。また、入力したメッセージを新たに定型文として最大 10 個まで登録することができます。


QRM	QSY	Good night	Pick me up
QRP	Good morning	Send messages	Thank you
QRT	Good job	Send pictures	OK
QRX	Good day	on my way	urgent
QRZ	Good evening	wait for you	

1. “新規にメッセージを作成して送信する” (前ページ) の手順 1 ～ 3 にしたがってメッセージ入力画面を表示します
2. **DIAL** ツマミ (右側) をまわして [#%^] を選択して **DIAL** ツマミ (右側) を押します
3. **DIAL** ツマミ (右側) をまわして [MTXT] を選択して **DIAL** ツマミ (右側) を押します
 - 定型文のリストが表示されます。
 - “1” ～ “10” には、最大半角 80 文字のテキストを定型文として登録しておくことができます
4. **DIAL** ツマミ (右側) をまわして使用する定型文を選択して **DIAL** ツマミ (右側) を押します
 - 選択した定型文がカーソル位置に入力されます
 - いくつかの定型文や新たに入力したテキストを組み合わせてメッセージを入力することができます
5. **DIAL** ツマミ (右側) を長押しします
メッセージの全文が表示されます。



定型文を登録する

最大半角 80 文字のメッセージを、定型文として 10 件まで登録できます
登録したメッセージは、あらかじめ用意されている 17 個の定型文 (前ページ参照) と同様に呼び出して、使うことができます

1. “新規にメッセージを作成して送信する” (5 ページ) の手順 1 ～ 5 を参照して定型文に登録するテキストを入力します
2. **DIAL** ツマミ (左側) を押してから **DIAL** ツマミ (左側) をまわして [SAVE] を選択して **DIAL** ツマミ (左側) を押します
定型文のリストが表示されます
3. **DIAL** ツマミ (右側) をまわして、登録する番号 “1” ～ “10” を選択します
4. **DIAL** ツマミ (左側) を押します
 - テキストが定型文としてメモリーされ、メッセージ入力画面に戻ります
 - すでに定型文が登録されている番号に登録すると、以前の定型文は上書きされません
 - 登録を中止する場合は  キーを押します

確認したメッセージに返信(REPLY)する

確認したメッセージを送信した局に返信します

1. “受信したメッセージを確認する”(4 ページ)の手順 1～3 に従って、確認するメッセージを表示します
2. **DIAL** ツマミ(左側)を押してから **DIAL** ツマミ(左側)をまわして**[REPLY]**を選択して **DIAL** ツマミ(左側)を押します
 - 自動で宛先にメッセージを送信した局のコールサインが設定されます
 - 返信できるのは自局が受信したメッセージのみです
3. **DIAL** ツマミ(左側)をまわして**[EDIT]**を選択して **DIAL** ツマミ(左側)を押します
メッセージ入力画面が表示されます
4. “新規にメッセージを作成して送信する”(5 ページ)の手順 1～5 を参照してメッセージを入力します
5. **DIAL** ツマミ(左側)を押してから **DIAL** ツマミ(左側)をまわして**[SEND]**を選択して **DIAL** ツマミ(左側)を押します
作成したメッセージがメッセージを送信した局に返信されます

確認したメッセージを転送(FORWARD)する

確認したメッセージをメンバーに転送します

1. “受信したメッセージを確認する”(4 ページ)の手順 1～3 に従って、確認するメッセージを選択します
2. **DIAL** ツマミ(左側)を押してから **DIAL** ツマミ(左側)をまわして**[FWD]**を選択して **DIAL** ツマミ(左側)を押します
3. **DIAL** ツマミ(右側)をまわして**[ALL]**を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押すと転送されます
 - 特定の局を宛先に指定する場合は、**DIAL** ツマミ(右側)をまわして相手局を選択して **DIAL** ツマミ(右側)を押すとメッセージが転送されます



- 交信圏外の局は選択することはできません
- 宛先とは、画面の宛先部分に“ALL”と表示させるか、“特定の局のコールサイン(名前)”を表示させるかの違いです。特定の局のコールサイン(名前)を宛先に指定しても、同じ周波数で GM 運用中の交信圏内にいる局はメッセージを見ることができます

GM セットモード一覧表

セットモード番号 / 項目	機能説明	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
60 DP-ID LIST	登録されている DP-ID のリストを表示	—
61 RANGE RINGER	交信圏内局確認時のビーブ音の設定	OFF/ON
62 RADIO ID	無線機に固有の Radio ID の表示	—
63 LOG LIST	受信したメッセージのリスト表示	—

GM セットモード動作一覧

● 60 DP-ID LIST

DP-ID リスト表示

解説：相手局の DP-ID(デジタルパーソナル ID)を登録したり、登録されている DP-ID を削除する際の DP-ID リスト画面を表示します

DP-ID 機能について、詳しくは取扱説明書 < 詳細編 > の“デジタルパーソナル ID(DP-ID) 機能”を参照してください

● 60 RANGE RINGER

GM 運用局が交信圏内に入ったときと出たときに、ビーブ音で知らせる機能です

設定項目：OFF/ON

工場出荷時：OFF

解説：GM 運用中、同じ周波数で GM 機能を動作させているメンバーが交信圏内に入ったときと出たときにビーブ音で知らせることができます

ON：GM 運用局が交信圏内に入ったとき、または出たときに、ビーブ音を鳴らします

OFF：ビーブ音は鳴りません

● 61 RADIO ID

RADIO ID の表示 (編集できません)

解説：C4FM デジタルモードの通信では、無線機ごとに異なる固有の Radio ID を送信します。RADIO ID は数字とアルファベットの 5 桁の組み合わせで、工場出荷時に書き込まれていて変更することはできません

本機を使用して自局で WIRES-X ポータブルデジタルノード局を開設する場合には、当社の WIRES-X ウェブサイト (<https://www.yaesu.com/jp/wires-x/index.php>) で登録が必要です。登録の申請時にはこの RADIO ID を正確に入力してください。(アルファベットには大文字と小文字の区別がありますのでご注意ください。)



- 本機に HRI-200 を接続して WIRES-X のノード局を開設する場合の申請時には RADIO ID ではなく HRI-200 のシリアル番号(8 桁)で申請します
- ローカルにある WIRES-X オープンノード局を経由して WIRES-X によるインターネット通信をする場合には、登録などは不要ですぐに楽しむことができます

● 62 LOG LIST

LOG LIST の表示

解説：送信または受信したメッセージのリストを表示します

YAESU

Radio for Professionals

本製品または他の当社製品についてのお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社カスタマーサポートをお願いいたします。

八重洲無線株式会社 カスタマーサポート

電話番号 0570-088013

受付時間 平日9:00～12:00、13:00～17:00

八重洲無線株式会社 〒140-0013 東京都品川区南大井6-26-3 大森ベルポートD-3F
